

トピックス

特別展「幕末日本と徳川斉昭」



斉昭の書と幕府軍艦に使用された「日章旗」



幕末の追鳥狩（武芸鍛錬）に使われた「陣太鼓」

平成20年10月11日（土）から11月24日（月・祝）

約160点の資料を展示し、第一部で藩政改革を、第二部では老中阿部正弘との交流、大老井伊直弼との比較を交えて幕府政治とのかかわりを、第三部では家庭人としての素顔について展示し「幕末」という時代背景の中に斉昭の生涯をとらえ、その歴史的役割や業績について紹介しました。

会期中の関連行事として、京都女子大学教授 母利美和氏による講演「徳川斉昭と井伊直弼 - 対立の構造と真意」、江戸東京博物館学芸員・國學院大學講師 畑尚子氏による講演「幕末の大奥 - 斉昭と天璋院 -」が行われました。各回とも、会場は満席となり、ロビーに臨時の視聴席を設けるほどの大盛況となりました。

そのほかに「斉昭ミニ講座」を4回、展示解説を7回行い、各回とも多くのご参加をいただきました。

インターネット上で正しく表記されないおそれがあるため、「徳」「斉」の表記は、特別展時と違うものを使用しています。

平成20年度 下半期の行事から

歴史館いちようまつり 「和の文化」の祭典

平成20年11月2日（日）から24日（月・祝）



ミニ掛け軸づくり

歴史館のいちようの黄葉が美しい11月に「和の文化」に触れていただくため、「歴史館いちようまつり」を今年度新たに開催しました。

「歴史館いちようまつり」開催期間中に、落語家 三遊亭 金時氏による講座「江戸時代の庶民文化の再発見」をはじめ、抹茶サービス、琴や尺八の演奏会、手打ち蕎麦販売、昔遊び、農産物販売、民家解説など様々なイベントを行いました。

11月8日、13日に行われた「ミニ掛け軸づくり」では、多くの子どもたちが、歴史館ボランティアに教わりながら、それぞれ個性的な作品を作りました。

また、期間中の11月2日、3日には「第23回国民文化祭・いばらき2008」の事業として、当館の講堂・茶室（無庵・双宜庵）を会場に「茶道フェスティバル」が開催されました。

小中学生体験 歴史館コンサート

11月1日(土)

当館に所蔵されている1865年に製造されたスタインウェイ&サンズ社製のグランドピアノを用いて、小・中学生たちが演奏するコンサートを行いました。27名の参加者はグランドピアノの歴史の重みを感じながら、それぞれの演奏曲を上手に弾いていました。



歴史館コンサート

11月21日(金)

小中学生いにしへのピアノ演奏体験

11月22日(土), 23日(日)

当館に所蔵されている1865年に製造されたスタインウェイ&サンズ社製のグランドピアノを用いて、年に3回、コンサートを開催しています。

今年度第3回目は、星子知美氏によるピアノソロ、菊池有里子氏によるメゾソプラノの独唱(伴奏 秋葉桃子氏)によるコンサートが行われ、鑑賞者は美しいピアノの音色と歌声に、聞き入っている様子でした。

また翌日から2日間、歴史館コンサートに用いたピアノを自由に演奏できる「小中学生いにしへのピアノ演奏体験」を行い、多くの小中学生がグランドピアノに触れ、貴重な体験を楽しんでいました。



星子 知美 氏



菊池 有里子 氏

歴史教室

12月13日(土)

当館の研究員が、茨城県の歴史に関する研究の成果を県民に分かりやすく解説するために、毎年開催しているものです。平成20年度第3回は、当館首席研究員 木村秀弘が「太田鉄道と水戸鉄道」のテーマで発表しました。

また、平成20年度の最後に当たる第4回は、2月7日(土)「かくりょういんさまあんじつろく覚了院様御実録をよむ」のテーマで、首席研究員 笹目礼子 が発表しました。



じゅうにひとえ十二単試着体験

1月2日(金), 3日(土)

新春イベントとして、「じゅうにひとえ十二単試着体験」を行いました。初めて行ったイベントでしたが、2日間とも大盛況で、用意した整理券はすぐになくなりました。試着した方からは「お姫様になった気分だった」「華やかな衣装で、まるで絵巻の中にいるようだった」という声が聞かれました。

トピックスでご紹介した内容は、茨城県ホームページ「県政ホットニュース」、茨城県教育委員会ホームページ「フォトニュース」にも同様の内容で掲載されています。

各行事についてのお問い合わせは、

茨城県立歴史館 教育普及課 電話029-225-4425

までお願いいたします。